

2020年2月吉日

各位

東北特殊鋼株式会社 研究開発部

「子供の科学」誌 掲載のお知らせ

当社が2019年12月、接着・接合 EXPO に出展した展示品「磁歪で紙相撲」が、2020年2月10日発売の『子供の科学 2020年3月号』（誠文堂新光社刊）にて紹介いただいています。

本展示品は、2018年2月に当社が国立大学法人東北大学と共同発表した「圧電素子を超える振動発電機能をもつクラッド鋼板」を応用したものです。クラッド鋼板の素子へ外部から磁界の変化を与えると、素子が振動を生成する加振装置（アクチュエーター）を製作することができます。本展示品では土俵を加振し上部の紙でできた力士が振動を受けて、さながら相撲の取組みを行っているように動き回ります。

接着・接合 EXPO では、クラッド鋼板がアクチュエーターの素子として応用できることを紹介する目的で本展示品を出展し、多数の来客から関心を寄せていただくことができました。クラッド鋼板によるアクチュエーターは、工場のラインで部品を運ぶ等、様々の用途で取引先から開発の問い合わせを受けており、今後産業界での活躍が期待されています。

以上

(写真)



株式会社誠文堂新光社 子供の科学

<https://www.kodomonokagaku.com/magazine/>

2018年2月 プレスリリース 圧電素子を超える振動発電機能をもつクラッド鋼板を開発

http://www.tohokusteel.com/ja/news/news/news4098759696594791429/main/0/link/0213_release.pdf